

有名大学内で逮捕者が出るなど、若者の大麻汚染が社会問題化しています。

警察庁によると、昨年1年間に大麻取締法違反で摘発されたのは2271人。

このうち10〜20歳代の若者が過去5年間で最高の約70%を占めました。

大麻汚染の温床のひとつとされるのが、「レイブ」と称する深夜から朝まで行われる野外音楽パーティー

1。密売人が暗躍する場です。「アルコールやタバコより害が少ない」「病気にも効く」といった誤った情報が、インターネットに氾濫していることも原因といわれます。

## 深刻化する大麻汚染

薬物乱用に詳しい医師によると「幻覚や妄想のほか免疫機能や生殖機能の低下を招く」といわれます。正しい情報を伝える啓蒙活動が、厳罰化とともに検討されています。

防犯一口メモ